

体験版

# ■ Illustrator

■ Photoshop   ■ InDesign   ■ HTML+CSS



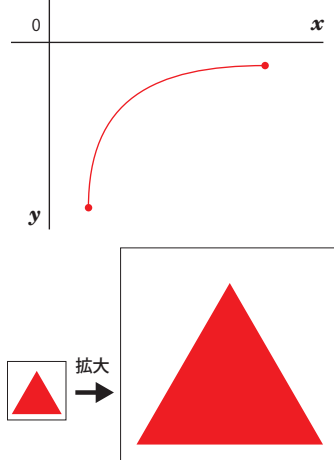
# 目次

<b>1</b>	<b>Adobe Illustrator の概要</b>	<b>1</b>
1-1.	Illustrator とは	1
1-2.	Illustrator の役割	1
<b>2</b>	<b>Adobe Illustrator の起動と画面構成</b>	<b>2</b>
2-1.	Illustrator 2020 を起動する	2
2-2.	ツールパネル（ツールバー）	2
2-3.	パネルとコントロールパネル	3
<b>3</b>	<b>ドキュメントの基本</b>	<b>4</b>
3-1.	新規ドキュメントの作成	4
3-2.	Illustrator 形式（Ai）での保存	5
3-3.	既存ファイルを開く	5
3-4.	画面のズーム	6
3-5.	画面のスクロール	7



## Adobe Illustrator 入門

### ベクター（ベクトル）画像



## 1 Adobe Illustrator の概要

### 1-1. Illustrator とは

Illustrator はベクター系のデータを扱うソフトです。描画するエリアは座標軸で管理され、座標値（点）の間を線でつないでグラフィックを表現します。

できたグラフィックを後から拡大・縮小すると、新しい座標値をつかって描画します。そのため、いつでもきれいな線で表現できます。ベクター系データの大きな利点です。

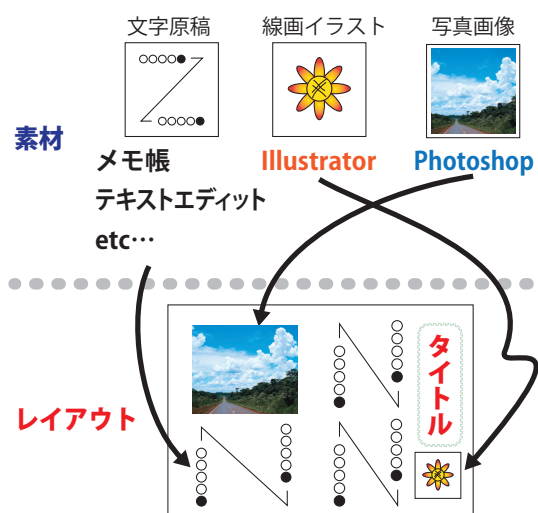
### 1-2. Illustrator の役割

イラストを描くだけでなく、文字や写真を自由に配置できます。（レイアウト）

その特性を活かして、名刺やポスター・チラシなど、「ペラもの」の印刷物を作ることができます。

#### 【参考】

DTP：デスクトップパブリッシング  
（机上印刷）  
デスクトッププリプレス  
（印刷前工程）



書籍、雑誌等の「ページもの」を作る場合は、Illustrator で作ったグラフィックは素材として保存し、InDesign などのレイアウトソフトに「配置」して使用します。

Illustrator で Web 用の素材（サイト ID・バナー・見出し文字など）を作ることでもあります。作成したグラフィックは素材として保存し、HTML ページ上に配置して利用します。



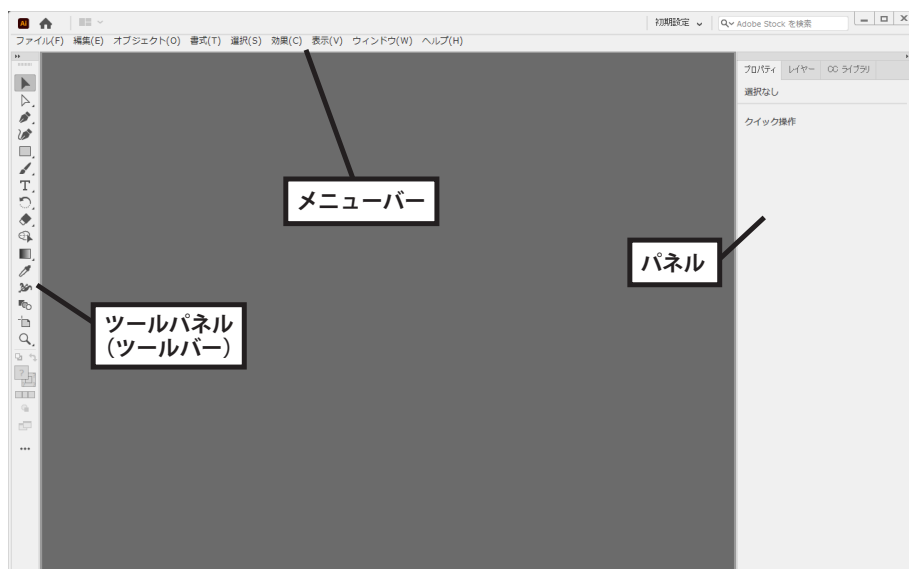
保存する際、目的に応じたファイル形式を選択します。

## 2 Adobe Illustrator の起動と画面構成

### 2-1. Illustrator 2020 を起動する

Macintosh は「アプリケーション」フォルダーから、Windows は「スタート」メニューから、「Adobe Illustrator 2020」を起動します。

画面上部に「メニューバー」、左側に「ツールパネル」(ツールバー)、右側には各種「パネル」が表示されます。



### 2-2. ツールパネル (ツールバー)

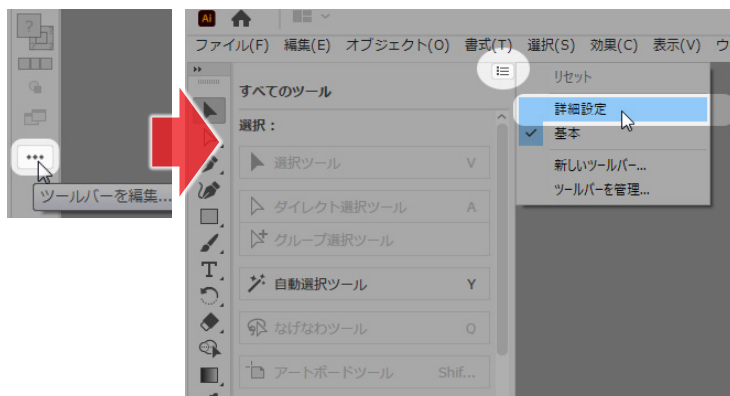
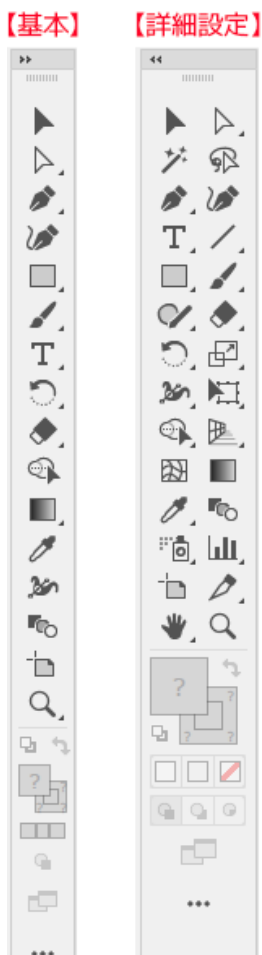
画面左側にある縦長のバーを「ツール」パネル(ツールバー)と呼びます。ツールパネルには、Illustrator 上で作図を行ったり、加工するためのツール(道具)が格納されています。使用目的に合わせてクリックで持ち替えて、作業をしていきます。

※ツールの中には右下に小さな三角マークの表示があるツールがあり、これらのツール上をプレス(長押し)もしくは、右クリック(CC〜)すると、その下に隠れているツールを選択できます。

#### 【ツールバーを編集】

初期設定では「基本」ツールの状態となっており、よく使用するツールの一部が表示されております。

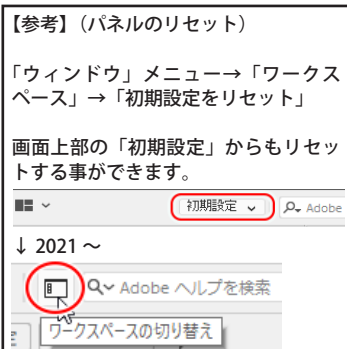
他のツールを使用する場合、「…」(ツールバーを編集...)をクリックし、右上のメニューから「詳細設定」をクリックします。



## 2-3. パネルとコントロールパネル

画面右側には「パネル」があります。パネルにはツールの補助を行う機能があります。

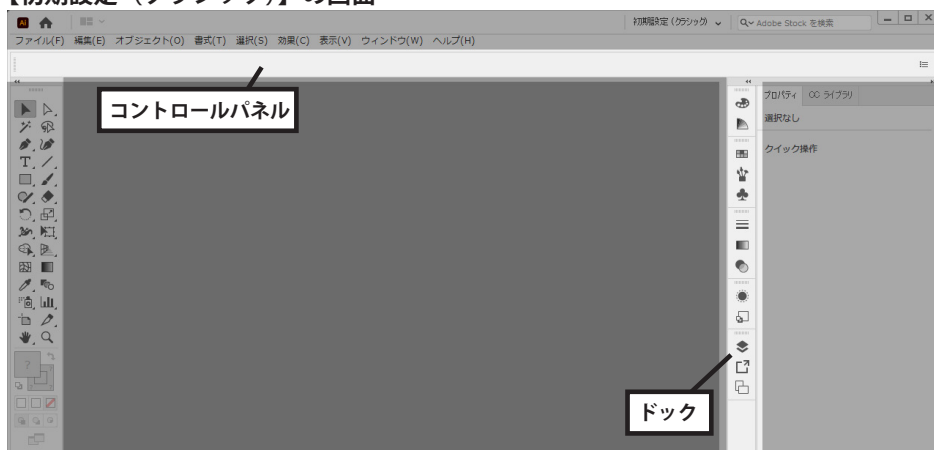
初期設定では、「プロパティ」、「レイヤー」、「CC ライブラリ」と3つのパネルが表示されております。



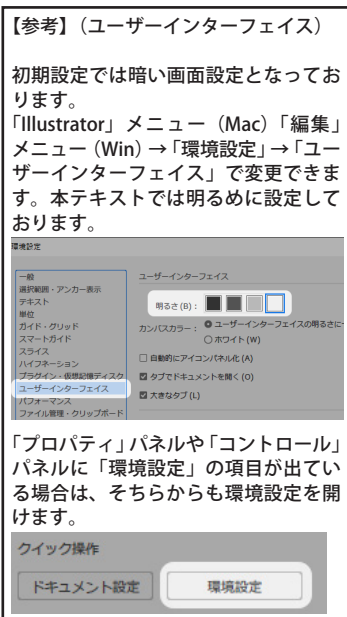
パネルのタブをクリックすると切り替わります。使いたいパネルが画面上にない時は、「ウィンドウ」メニューから開きたいパネル名を選択します。

パネルの位置や画面構成等の作業環境を「ワークスペース」と呼びます。「ワークスペース」の切換えは、「ウィンドウ」メニュー→「ワークスペース」、もしくは画面上部の「初期設定」から行います。（☐ 2021 ～）

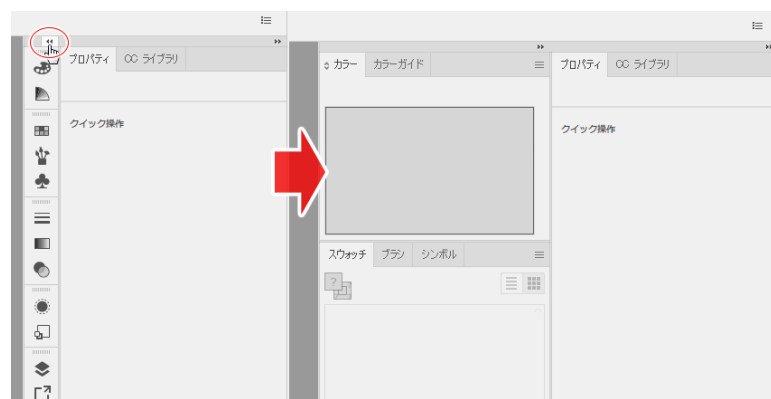
### 【初期設定（クラシック）】の画面



本テキストは、ワークスペースを「初期設定（クラシック）」の設定にしております。



パネルは「アイコン化」されている場合は、「ドック」内に格納されています。パネルを表示するには、アイコンをクリックするか、パネル右上にある「パネルを展開」アイコンをクリックします。



メニューの下にあるエリアを「コントロール」パネルと呼びます。作業状況に応じて、関連した設定項目が表示されます。

（非表示の場合は「ウィンドウ」メニューから呼び出します）

### コントロールパネル



### 3 ドキュメントの基本

#### 3-1. 新規ドキュメントの作成

新規ドキュメントの作成は「ホーム」画面内の「新規作成」、もしくは「ファイル」メニュー→「新規 ...」を選択します。「新規ドキュメント」ダイアログが開きます。

最初にダイアログ上部のカテゴリーの中から目的に応じたプロファイルを選択します。



##### 【参考】（裁ち落とし）

フチなし印刷のような、全面に色やパターン等が入るデザインをする場合、ドキュメントサイズよりも少し大き目にデザインします。「新規ドキュメント」ダイアログで、「裁ち落とし」に数値が入っていると、大き目にデザインする際の目安となる赤いガイド線が表示されます。



##### 【参考】（単位「ピクセル」）

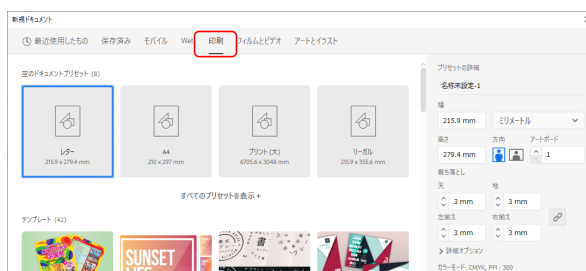
ピクセルはディスプレイ装置の画面やデジタル画像で扱われる色情報の最小単位のことをいいます。

##### 【参考】（「CMYK」と「RGB」）

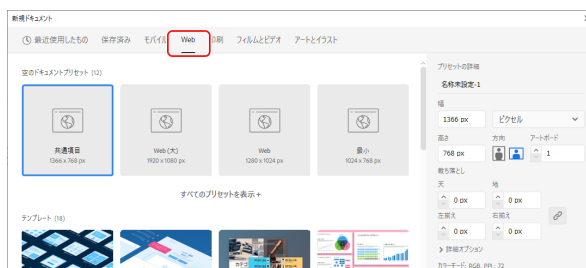
「CMYK」とは「Cyan（藍）」「Magenta（紅）」「Yellow（黄）」「Black（墨）」の4色を混ぜ合わせてフルカラーを表現する方式です。（印刷機やプリンター等で使用されています）

「RGB」とは光の三原色と呼ばれる「Red（赤）」「Green（緑）」「Blue（青）」の3色を組み合わせるさまざまな色を表現する方式です。（デジタルカメラやモニター等で採用されています）

#### DTP



#### Web



続いて「ドキュメントプリセット」欄からサイズを選択します。「すべてのプリセットを表示」をクリックすると用意されている他のプリセットを表示することができます。希望するサイズが一覧にない場合は、「幅」と「高さ」欄に数値を入力して指定します。



#### ○カラーモードとアートボードサイズの設定

	DTP	Web
プロファイル	印刷（プリント）	Web
サイズ	用紙サイズを選択	画像サイズを選択
単位	ミリメートル	ピクセル
方向	縦・横	
カラーモード	CMYK	RGB

設定完了後、「作成」もしくは「OK」をクリックします。



### 3-2. Illustrator 形式（Ai）での保存

作成したファイルを保存します。

#### 【参考】ファイル形式

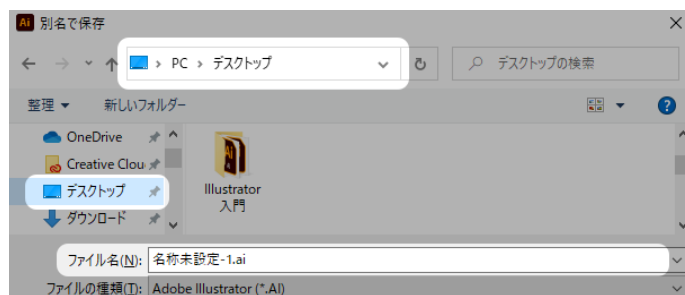
DTP	Ai、PDF、EPS
Web	GIF、JPEG、PNG、SVG



↑クラウドドキュメントに保存または、コンピュータに保存のいずれかを選択します。

#### ■作業手順（Illustrator 形式で保存）

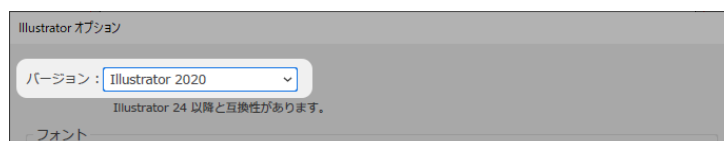
- 1) 「ファイル」メニュー→「別名で保存 ...」を実行します。
- 2) 「別名で保存」ダイアログが開いたら、保存場所を指定し、任意のファイル名を入力します。



- 3) 「ファイル形式」(Mac) 「ファイルの種類」(Win) を「Adobe Illustrator(ai)」(Mac) 「Adobe Illustrator(\*.AI)」(Win) に指定して「保存」をクリックします。



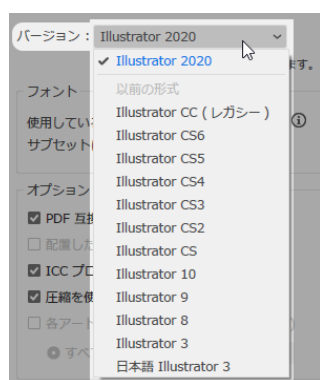
- 4) 「Illustrator オプション」はそのまま「OK」をクリックします。



※ Illustrator のファイルを渡す際、相手の Illustrator が自分より下位バージョンだと、そのままではファイルを開けません。「Illustrator オプション」ダイアログで相手のバージョンに合わせて保存します。

※新機能を使用した場合、下位バージョンに落とすとその機能は外れてしまうので注意が必要です。

#### バージョン落としが必要な場合

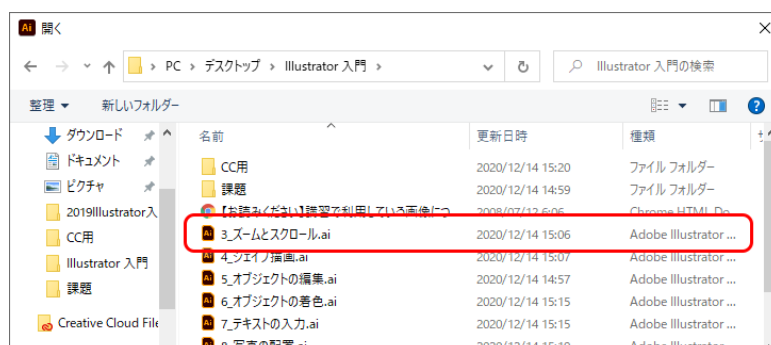


### 3-3. 既存ファイルを開く

Illustrator で作成されたファイルを開くには、以下の手順で行います。

#### ■作業手順（ファイルを開く）

- 1) 「ファイル」メニュー→「開く ...」を選択します。
- 2) 「開く」ダイアログでファイルを選択し、「開く」をクリック、もしくはファイル名をダブルクリックします。



#### 【参考】（ショートカットキー）

ファイルを開く...

「⌘」(command) + 「O」(Mac)  
「Ctrl」+ 「O」(Win)

### 3-4. 画面のズーム

細部をよく見るには、画面をズームアップします。  
ツールパネルから「ズームツール」をクリックします。

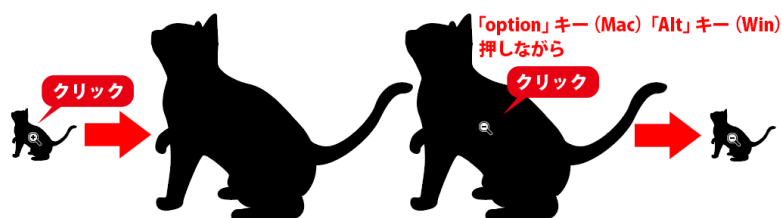


#### 【ズームアップ（ズームイン）】

画面内のズームアップしたい位置をクリックすると、クリックした位置を中心に画面がズームアップされます。

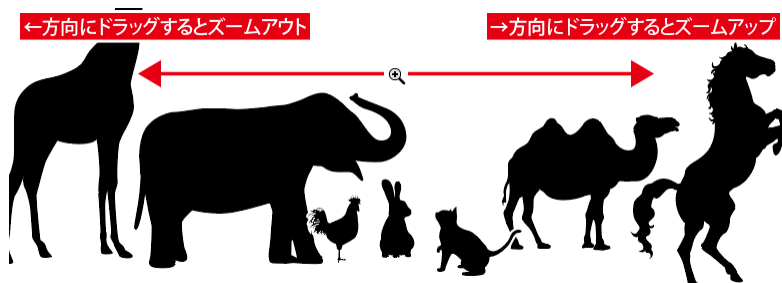
#### 【ズームアウト】

画面をズームアウトするには「option」キー（Mac）「Alt」キー（Win）を押しながら、画面内をクリックします。クリックした位置を中心に画面がズームアウトされていきます。



#### 【アニメーションズーム】

CC2015 への「ズームツール」では、右方向にドラッグすると拡大表示、左方向にドラッグすると縮小表示となります。



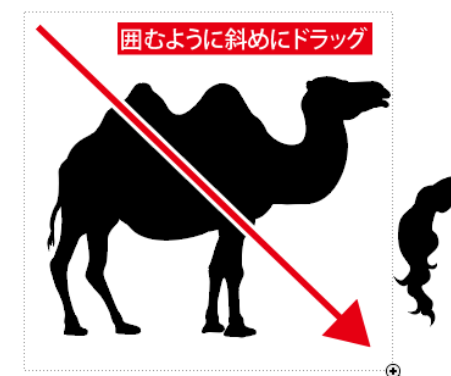
#### 【参考】（アニメーションズーム）

使用の可否は、「環境設定」の「パフォーマンス」項目の「GPU パフォーマンス」で確認します。




#### 【ズームアップ】（アニメーションズーム無効時）

「アニメーションズーム」が使用できない環境の場合、ズームアップしたい領域をドラッグで囲むと、一度で適した拡大率になります。




※ツールパネル内の「ズームツール」をダブルクリックすると、「100%」表示になります。

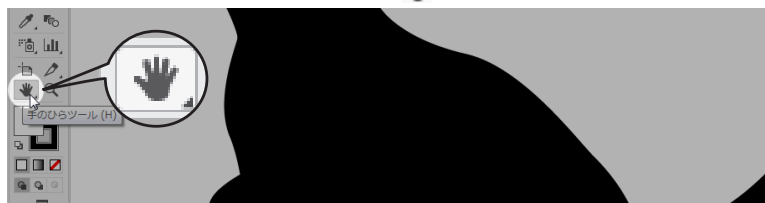
### 3-5. 画面のスクロール

表示領域からはみ出した部分を表示するには画面をスクロールします。画面右部と下部に表示されているスクロールバーは、細かい調整がしづらいため、「手のひらツール」を使います。

【画面のスクロール】（手のひらツール）

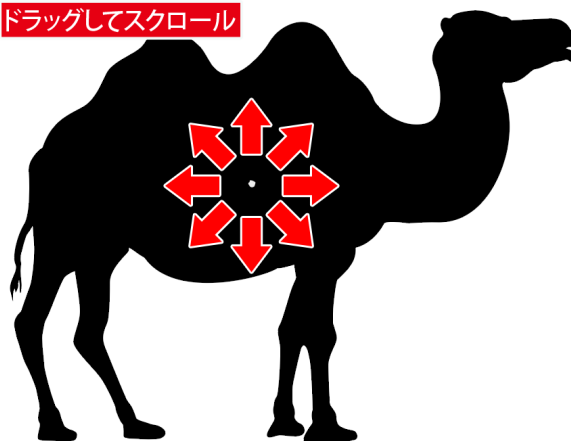


ツールパネルから「手のひらツール」をクリックします。





画面内をドラッグするとスクロールします。

**ドラッグしてスクロール**



【画面のスクロール】（「スペース」キー）

「手のひらツール」以外のツールを指定している場合、キーボードの「スペース」キーを押しながらドラッグすることで、画面のスクロールを行うことができます。

※ツールパネル内の「手のひらツール」をダブルクリックすると、設定されているドキュメントサイズの全体を表示することができます。

体験版はここまでです。